

2023年4月18日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 タ ス キ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 柏 村 雄
(コード番号：2987 東証グロース)
問 合 せ 先 財 務 経 理 部 長 狩 野 雄 一 郎
(TEL 03-6812-9330)

ZISEDAL、ChatGPTを活用した「TASUKI TECH LAND」の機能拡張の実装を開始

株式会社タスキの子会社であり、SaaS事業及びDXコンサルティング事業を展開している株式会社ZISEDAL（本社：東京都港区、代表取締役社長：柏村 雄 以下、「ZISEDAL」）は、主力プロダクトである「TASUKI TECH LAND」において、ChatGPT（※1）を活用したプログラムの実装を開始しました。

◆背景

ZISEDALは、『その技術を次世代へ』を企業理念に掲げ、SaaS型プロダクトを中心に、不動産テック分野のリーディングカンパニーとして、テクノロジーで不動産業界の変革に取り組んでおります。これまで、土地仕入管理サービス「TASUKI TECH LAND」や、ワンタッチで最適な建築プラン・事業収支が確認できる「TASUKI TECH TOUCH&PLAN」において、AIの活用による業務効率化を図ってきました。

一方で、アナログな商習慣が残る不動産業界では紙媒体の情報管理が主流であり、膨大な紙媒体情報をいかにデータとして活用できるようにするかがDX化のハードルとなっていました。紙媒体情報のデータ化にはOCR（※2）が多く活用されますが、使用語句の差に対応ができず、フォーマットが統一でないと読み込めないために、データ化のハードルが高い現状がありました。そこで、OCRと、文脈を読み取り文章生成ができるChatGPTを組み合わせることにより、紙媒体情報のデータ移行スムーズ化のモデルを見出しました。これにより、データ移行が簡素化され「TASUKI TECH LAND」の導入準備も人的リソースを割かずに進めることができ、導入障壁を下げることに繋がると考えています。

また、ユーザの満足度向上につながるカスタマーサポート機能として、「TASUKI TECH LAND」の使用手法や、宅建業法や建築基準法に関連する質問事項に回答できるAIアシスタントツールの実装も検討しています。

ZISEDALは引き続き、最新技術の活用により、顧客満足度の高いプロダクトの開発と研究を進め、アナログな商習慣が残る不動産業界にイノベーションを起こしてまいります。

※1 ChatGPT：OpenAI社が開発した対話型チャットボット

※2 OCR：活字や手書き文字などを画像データとして取り込み、編集可能なテキストデータ（文字コード）に変換する技術

以上